保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　**お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル　0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル　0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** 詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　－

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

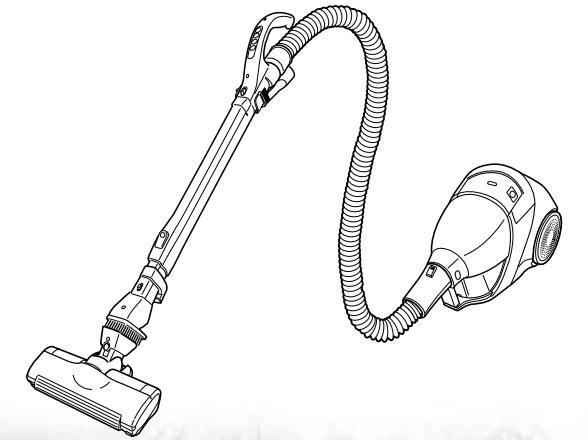
- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用中止 ▶ 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用）取扱説明書

形名
VC-CV9D

もくじ

安全上のご注意・・・・2～3
お願い・・・・・3
各部のなまえとはたらき・・・・・4～5
お掃除のしかた・・・・・6
付属品の使いかた・・・・・7～8
ゴミの捨てかた・・・・・9～10
お手入れ・・・・・10～13
お掃除終了後は・・・・・14
このようなときは・・・・・14
保護装置について・・・・・15
抗菌の効果・・・・・15
仕様・・・・・15
保証とアフターサービス・・・・・16

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示
●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意
△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁 止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

禁 止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

禁 止

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

接触禁止

床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

禁 止

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、感電の原因になります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電・発熱による火災の原因になります。

⚠注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

排気口をふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐに引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁 止

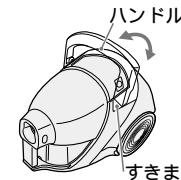
引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁 止

ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない
感電・破壊の原因になります。

禁 止

ハンドルを動かすときは、すきまに指を入れない
指をはさんで、けがの原因になります。

ハンドル
すきま

お願い

このクリーナーは家庭用です
- 業務用には使用しない。
- 掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない
- ■**水などの液体や湿ったゴミ。**
- ■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
- ■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
- ■食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。
- **異臭の発生や本体故障、紙パックの集じん性能を低下させる原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない
- 床が傷ついたり、故障の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す
- 電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ・ワンタッチ手元ブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない
- 床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
- 床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
- やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
- 砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
- 床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

各部のなまえとはたらき

調節ボタン

●調節ボタンを押しながら長さを調節してください。
●長さ調節時や使用時に「シャカシャカ」と音がすることがありますが、内部部品の振動音で故障ではありません。

お願い

運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。
急に縮んでけがをすることがあります。

調節ボタン

はずすときはボタンを押しながら

手元スイッチ 6ページ
グリップ
接点
すき間ノズル 8ページ
ワンタッチ手元ブラシ 7 13ページ
カチッ
伸縮延長管
ホース
接点
スタンドストッパー 14ページ
カチッ
床ブラシ 7 12 13ページ
接点
ワンタッチどこでもブラシ
床ブラシを使用するときは 7 12ページ 必ず取り付けてください。
カチッ
けが注意ラベル

ハンドル兼用ちり落とし 5ページ
フィルターお手入れサイン 5ページ
形名表示位置
ふた
接点
カチッ
ティッシュ取付枠（プリーツフィルターに付属）8ページ
お手入れブラシ 5ページ
電源コード巻取りボタン 14ページ
赤マーク
黄マーク
電源コードは黄マーク以上引き出さないでください。（断線の原因になります）
電源プラグ
電源コード
運転中は電源コードの巻き取り、引き出しをしないでください。
排気口
車輪

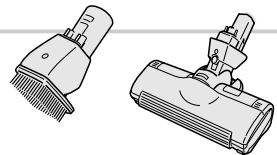
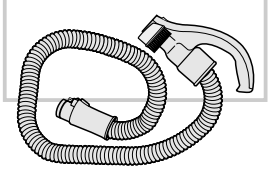
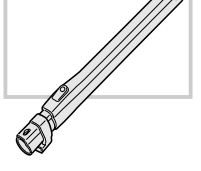
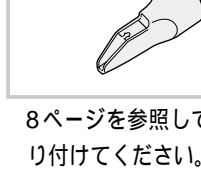
ホース差込口

取りはずしはボタンを押しながら行ってください。

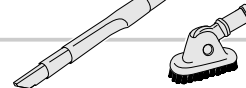
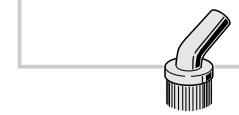
必ず取り付けてください

サイクロンカップ 9〜11ページ
ダストカップ 9〜11ページ
ちり落とし機構 5ページ
プリーツフィルター 10〜11ページ
取り付けないと故障の原因となります。

標準付属品

- 床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ付（1個）（自走ブラッシングヘッド）
- ホース（1本）ワンタッチ手元ブラシ付
- 伸縮延長管（1本）

応用付属品

- すき間ノズル（1個）
  ●8ページを参照して取り付けてください。
- 別売付属品用アタッチメント（1個）
  ●別売品をご使用の際に伸縮延長管またはホースに差し込んでお使いください。

別売品

- フリーアングルブラシ付3段伸縮すき間ノズル VJ-N2
- 丸ブラシ（馬毛製） VJ-M2U
- ソフトフロアブラシ VJ-F110
- ふとん用ブラシ VJ-B4

ちり落とし機構

ちり落とし機構

このクリーナーは、ハンドル連動のちり落とし機構を採用しています。
ハンドルを上下に動かすたびに、自動的にプリーツフィルターのちり落としを行います。
この機構により、従来よりも少ないお手入れで、強力なパワーが持続します。

※ハンドルを上下に動かすときのカタカタ音はちり落としの音で、異常ではありません。

ちり落としの仕組み

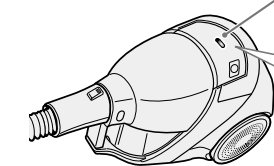
お願い

- 運転中はハンドルが重たくなりますが、異常ではありません。
- ちり落とし体には触れないでください。故障の原因になります。
- 運転中は必要以上にハンドルを動かさないでください。
  （運転中にハンドルを動かしても、ちり落としの効果はありません。）
- シャッターにゴミがはさまった場合は、取りのぞいてください。

⚠注意　禁止

ハンドルを動かすときは、すきまに指を入れない
指をはさんで、けがの原因になります。

フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期の目安をお知らせします。
フィルターが目づまりするとフィルターお手入れサインが点滅します。フィルターお手入れサインが点滅したら、ダストカップとサイクロンカップのゴミを捨ててください。それでもランプが消えない場合は、フィルターをお手入れしてください。そのままご使用になると、モーターの保護のために自動的にパワーが下がります。

お願い

●吸込力を持続させるために、こまめにゴミを捨て、月に一度を目安にお手入れしてください。
●お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

ブラシ入/切 を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき

- 床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
- ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

ブラシ入/切 を押すごとに「入↔切」が切り替わります。

自動

自動 を押す

「自動」でお掃除するとき

- ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

手動

強/弱 を1回押す

「強」でお掃除するとき

- じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに使用します。

強/弱 を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

強/弱 を2回押す

「弱」でお掃除するとき

- カーテンなど吸いついて操作がしにくいときのお掃除に使用します。
- すき間ノズルを使ったお掃除に使用します。

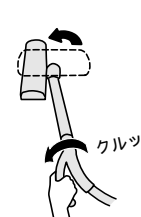
切 を押す

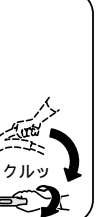
運転を止めるとき

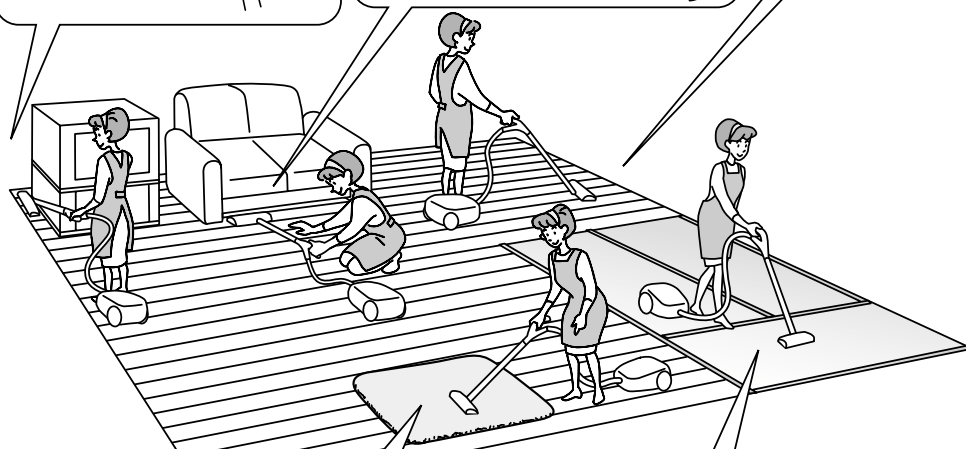
※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

●大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾ってください。ダストカップや床ブラシの風路につまる場合があります。

狭いところのお掃除

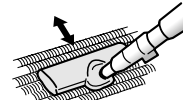
手元をひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。

低いところのお掃除

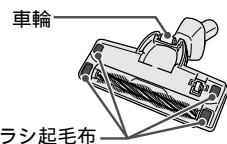
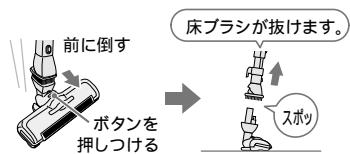
- 手元を下げると低いところのお掃除ができます。
- 手元をひねるとより奥までお掃除できます。

床のお掃除

床の傷つき防止のため、**板目にそって**片手で軽くすべらせます。

じゅうたんのお掃除

- 毛足が長いじゅうたんでは、「強」でお使いになると吸込力が強く、操作が重い場合があります。**その場合は「弱」でお使いください。**
- 新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

たたみのお掃除

たたみの傷つき防止のため、**たたみの目にそって**片手で軽くすべらせます。

お願い

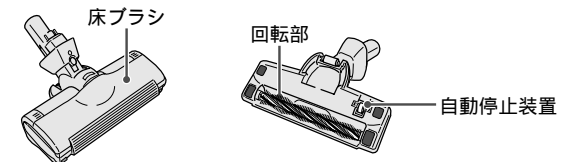
- 大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると、**モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります。**このようなときは、ゴミを取りのぞき、手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。
- 狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。
- 表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。

- 延長管を前に倒しすぎて下図のように約垂直状態になると床ブラシがはずれてお掃除できません。ワンタッチどこでもブラシをお使いになるとき以外は、延長管を無理に前に倒さずにお掃除してください。

付属品の使いかた

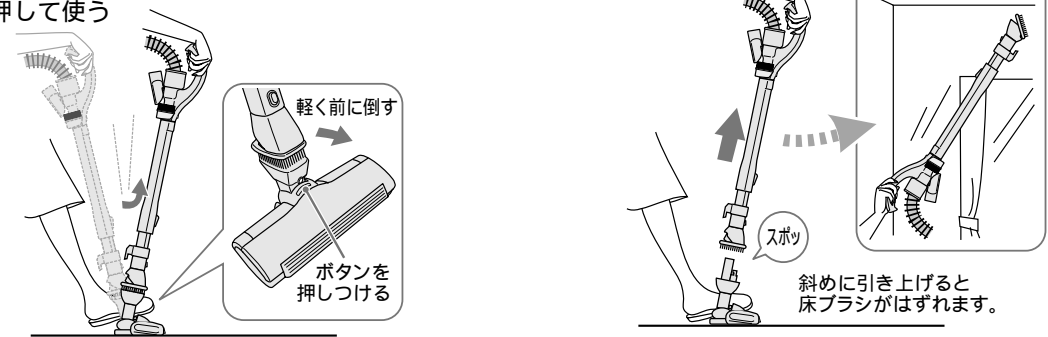
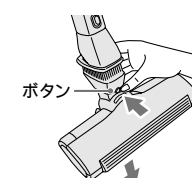
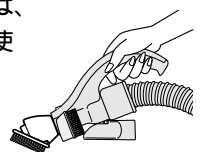
⚠警告 **床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない**

手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

床ブラシの回転部について

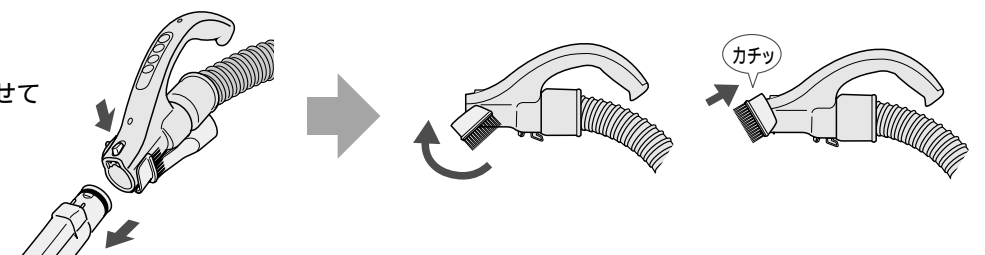
この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

- 床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
- 床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、切 を押し、運転を止め再び 強/弱 を押してお使いください。

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

①切 を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
②延長管を前に倒しながら、グリップを上に引き上げてはずす
③手元スイッチを押して使う

- **床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。**

- **ワンタッチどこでもブラシは、ホース先端に差し込んでも使えます。**

お願い

- 運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
- 無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。

ワンタッチ手元ブラシの使いかた

①伸縮延長管をはずす
（ボタンを押しながらはずす）
②ワンタッチ手元ブラシを回転させてホースの先端にしっかりはめる
③手元スイッチを押して使う

お願い

- **床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。**

（つづく）

付属品の使いかた（つづき）

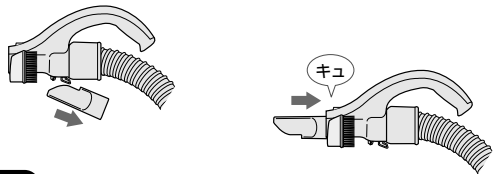
すき間ノズルの使いかた

通常は、(強/弱)を2回押し、「弱」で使う

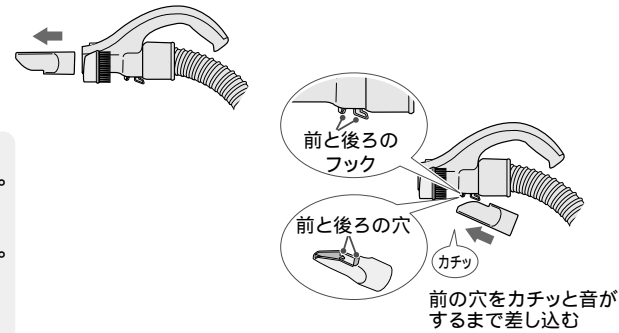
※強い吸込力でお掃除するときは、(強/弱)を1回押し、「強」でお使いください。

すき間ノズルのセットと収納

ホースにセットするとき

①すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせてはずす
②ホースの先端にしっかりねじ込む

ホースに収納するとき

①ホースの先端からすき間ノズルをはずす
②すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせ、前と後ろの穴を手元スイッチの裏側のフックにしっかり差し込む

①
前と後ろのフック
前と後ろの穴
カチッ
②
前の穴をカチッと音がするまで差し込む

お知らせ

- **すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の裏側に収納できます。**
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。
- 「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。
- 「強」で使用すると、急激にホースが縮むことがあります。

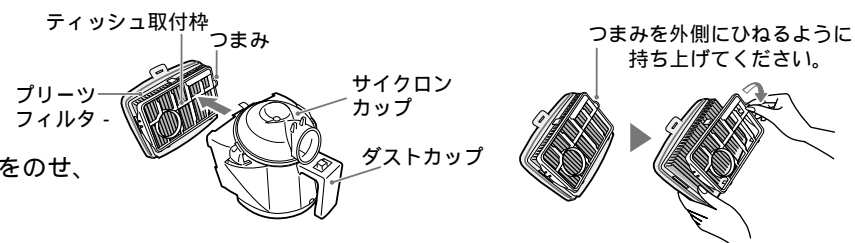
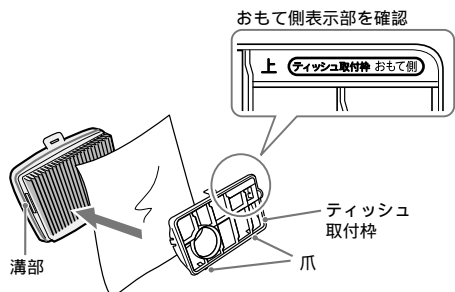
お願い

- **床などに使わないでください。傷をつけることがあります。**
- 20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
- **すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

ティッシュペーパーの取り付けかた

- **プリーツフィルターにティッシュペーパーを取り付けることができます。**

ティッシュ取付枠

①ダストカップからプリーツフィルターを取りはずし、ティッシュ取付枠をはずす

②プリーツフィルターにティッシュペーパーをのせ、ティッシュ取付枠をしっかりはめる

③プリーツフィルターをダストカップに取り付ける

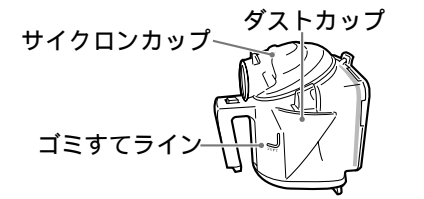
お知らせ

- **プリーツフィルターにティッシュペーパーを取り付けると、フィルターへの繊維ゴミやちりの付着が減り、フィルターのお手入れを軽減できます。**

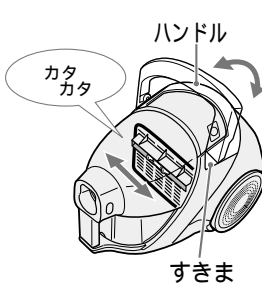
お願い

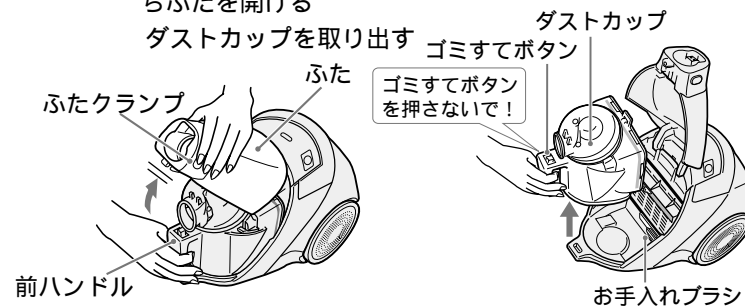
- ティッシュペーパを取り付けると通常より早くフィルターお手入れサインが点灯します。フィルターお手入れサインが点灯したらダストカップの中のゴミを捨て、ティッシュペーパーを取り替えてください。それでもランプが消えないときはフィルターのお手入れをしてください。
- ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。故障の原因になります。
- ゴミ捨てのときにティッシュペーパーを新しいものに交換してください。

ゴミの捨てかた

- お掃除が終ったらこまめにゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを越えると吸込力が低下します。

お願い

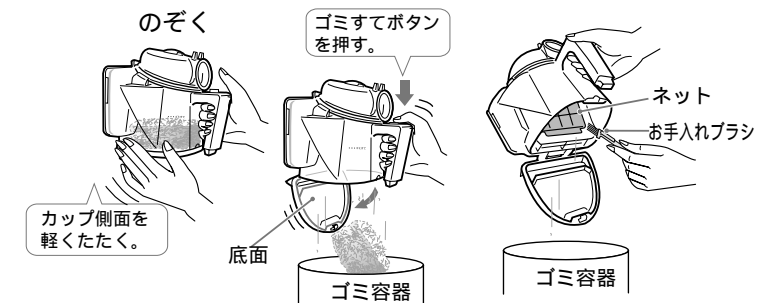
※ゴミを捨てる前には(切)を押して運転を止め、**電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。**
ホースを付けたままにすると、ダストカップを取り出すときにふたが閉まり、けがをすることがあります。
- ゴミの種類によりゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取りのぞき、フィルターのお手入れをしてください。

1 ハンドルを上下に5回程度動かし、プリーツフィルターのちり落しを行う

2 ふたを開け、ダストカップを取り出す

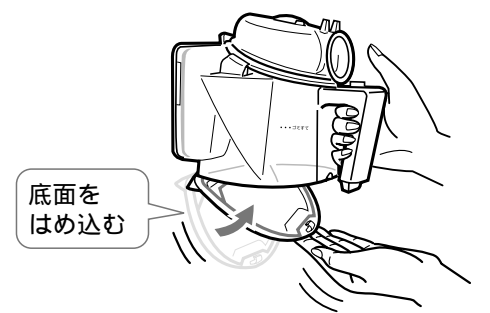
①前ハンドルをおさえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける
②ダストカップを取り出す

お願い

- 本体からダストカップを取り出すとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

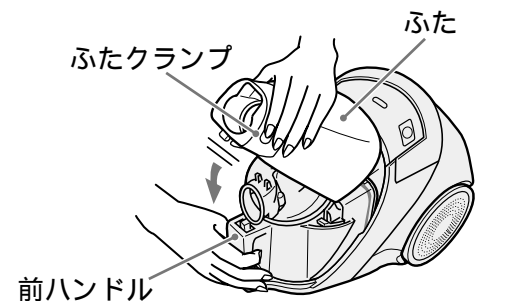
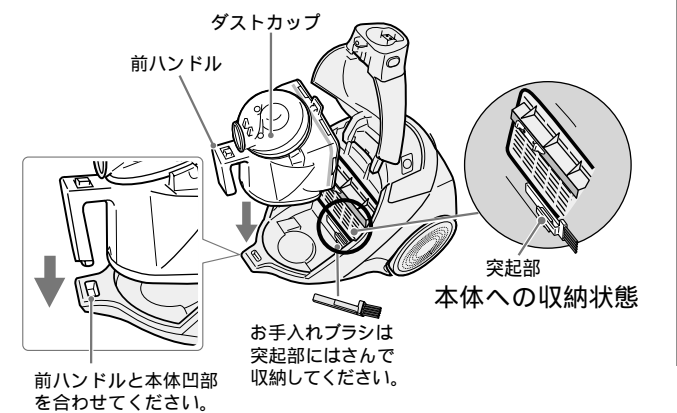
3 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、前ハンドルのゴミすてボタンを押す

- **ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。**
- **ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。**
- **ネット面に付着しているゴミは、お手入れブラシで取りのぞく**

お願い

- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。

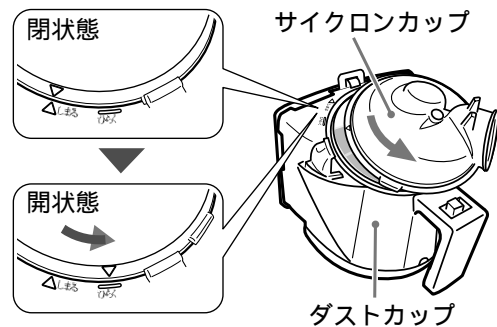
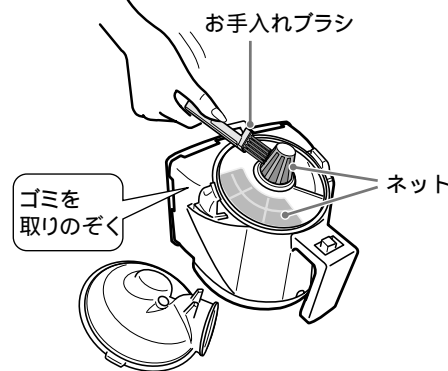
4 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込む

5 本体にダストカップをのせ、ふたを閉める

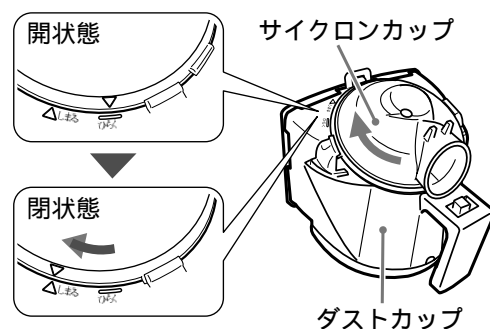
①本体にダストカップをのせる
②前ハンドルをおさえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める

お願い

- ふたで指をはさまないよう注意してください。

サイクロンカップのゴミの取りかた

大きなゴミを吸ったときや、ゴミすてラインを越えてゴミを吸ったときなど、サイクロンカップのネットにゴミが残ってしまうことがあります。
※週1～2回はサイクロンカップを取りはずし、中のゴミを取りのぞいてください。

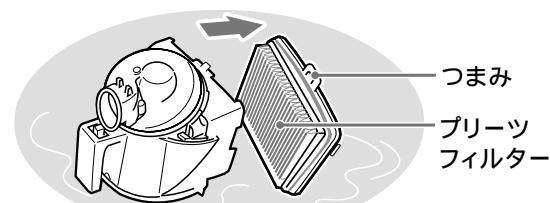
1 サイクロンカップを取りはずす

2 ネットについたゴミをお手入れブラシやティッシュペーパーなどで取りのぞく

お願い
- ネットを強く押さないでください。破損の原因になります。

3 サイクロンカップを取り付ける

お手入れ

ゴミを捨てても吸い込みが弱いときは、プリーツフィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの際には㊀を押して運転を止め電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。
- **本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。** 9ページ

プリーツフィルターのお手入れ

1 プリーツフィルターをはずし、水洗いする

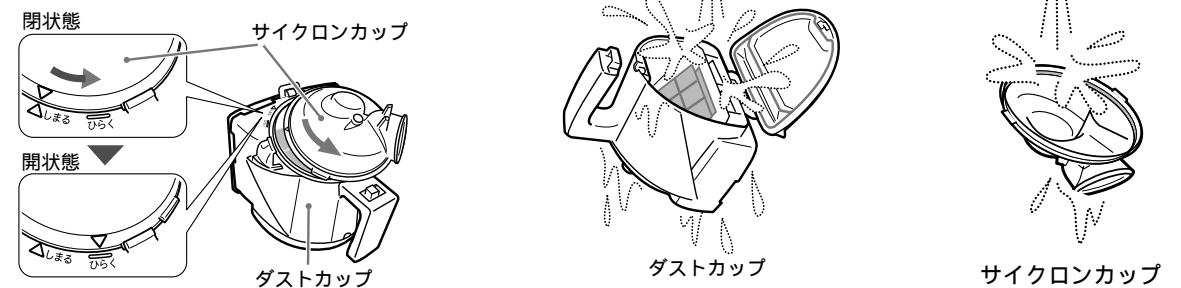
①つまみをもち、フィルターをはずす
②水洗いをする

- プリーツフィルターを広げながらお手入れブラシで洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

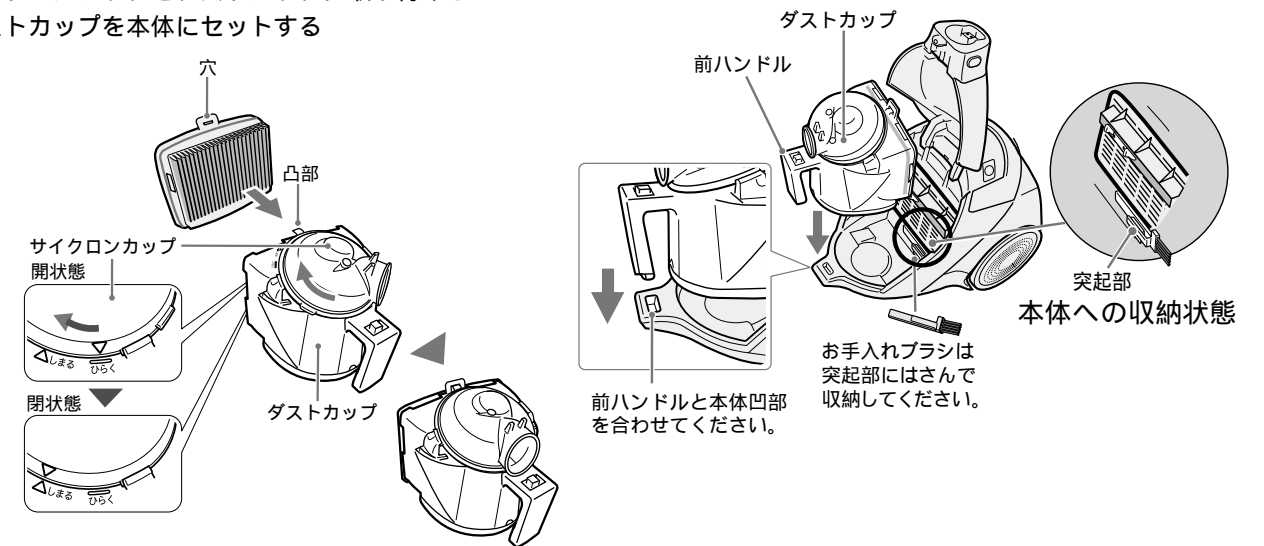
お願い
- プリーツフィルターのお手入れには付属のお手入れブラシ以外のものを使わないでください。破損の原因になります。

⚠警告
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

ダストカップ・サイクロンカップのお手入れ

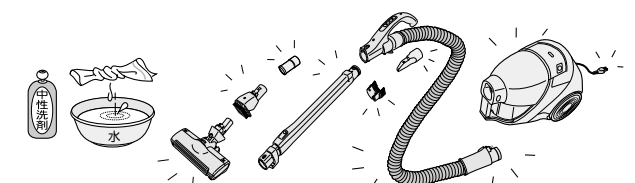
2 サイクロンカップを取りはずし、水洗いする

①サイクロンカップをひねって取りはずす
②ダストカップ、サイクロンカップを水洗いする

3 十分な乾燥を確認して、プリーツフィルター・サイクロンカップをセットする

①ダストカップの凸部につまみの穴をはめ込みセットする
②サイクロンカップをダストカップに取り付ける
③ダストカップを本体にセットする

お願い
- 吸込力を持続させるために、月に1度を目安にお手入れしてください。
  （お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）
- フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
- 水洗い後、プリーツフィルター・ダストカップ・サイクロンカップにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になると故障の原因になります。
  （乾燥時間は風通しの良い場所で約１日（24時間）が目安です。）
- プリーツフィルター・サイクロンカップは必ず取り付けてください。故障の原因になります。
  （プリーツフィルターを付け忘れるとふたが閉まりません。）

本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

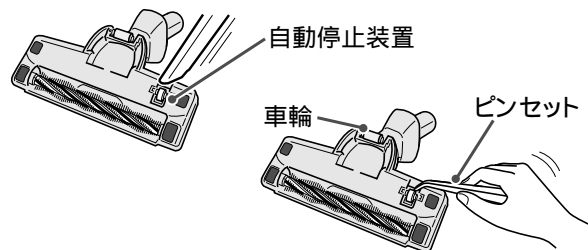
- **ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。**

お手入れ（つづき）

⚠警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

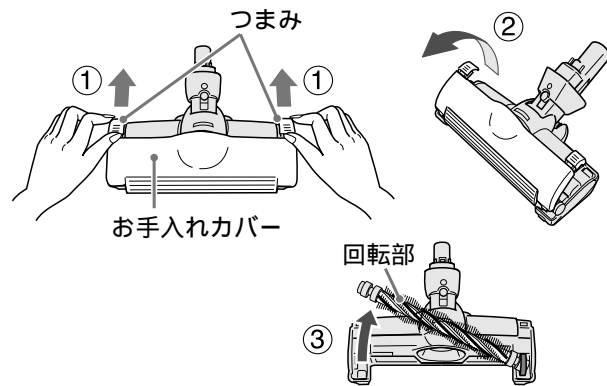
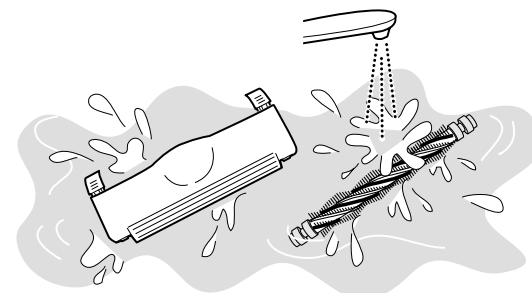
1 ゴミを取りのぞく

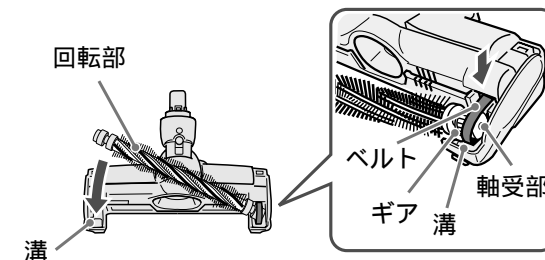
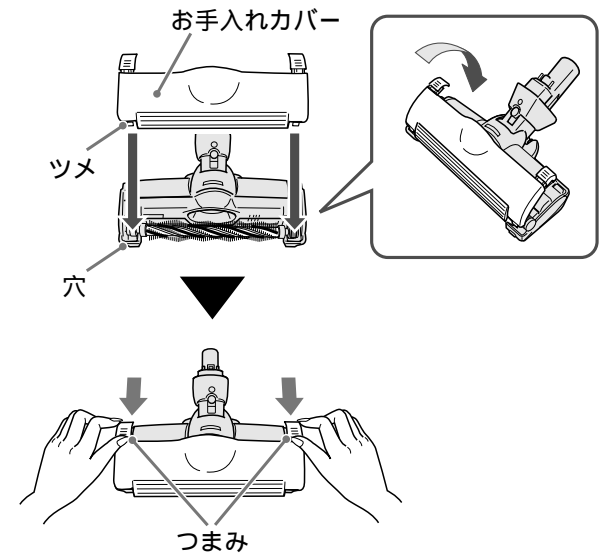
- 自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞいてください。

- ゴミがたまったままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

2 お手入れカバーをはずし、回転部を取り出す

①つまみを矢印の方向に動かす
②お手入れカバーを手前に動かす
③回転部をベルトからはずし取り出す

3 回転部にからみついたゴミを取りのぞく

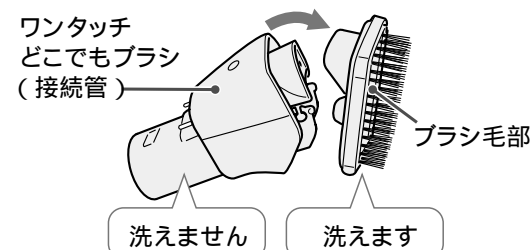
- 回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り取りのぞいてください。

4 回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

5 十分な乾燥を確認して、回転部を取り付ける

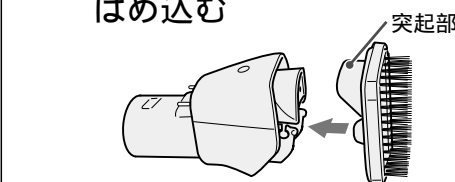
①回転部のギヤをベルトに入れる
②ケースの溝に軸受部を取り付ける

6 お手入れカバーを取り付ける

- お手入れカバーは、浮きがないようにつまみで確実にロックしてください。

お願い
- 回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。
- 回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。
- 回転部のギヤは確実にベルトに取り付けてください。ギヤが入っていないと回転部は回りません。
- 床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。

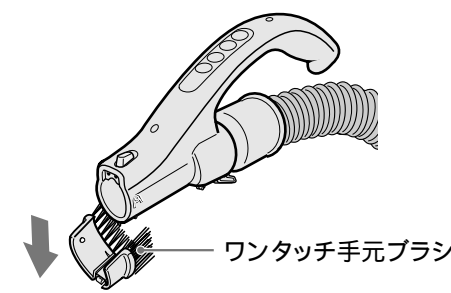
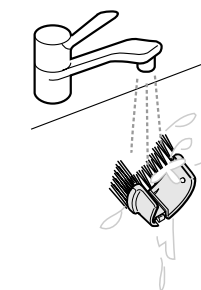
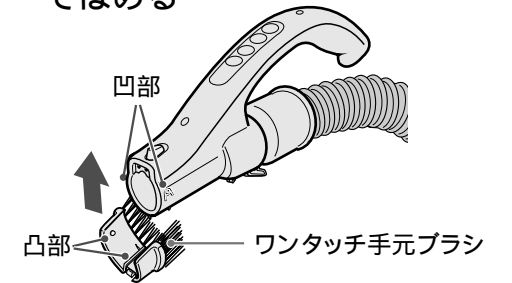
ワンタッチどこでもブラシ

ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部を前方へ軽くひねりながらはずす

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ブラシ毛部の突起部がある方を上にして、接続管にかけてカチッと音がするまではめ込む

お願い
- 接続管は、水洗いしないでください。

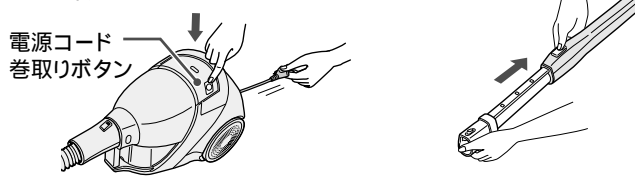
ワンタッチ手元ブラシ

1 ワンタッチ手元ブラシを下に引き抜く

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ホース先端の凹部とワンタッチ手元ブラシの凸部をあわせてはめる

お掃除終了後は

お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

①電源プラグを持ち、電源コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る
②巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取る

スタンド収納

①伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③床ブラシをすべらせながら本体側に引く
④スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

このようなときは

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。
  それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。	→しっかり差し込んでください。	4
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	15
	●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	15
モーターの回転が変動する	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	5
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	→ゴミを捨ててください。	9
	●ダストカップ、プリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	10~11
	●フィルターお手入れサインが点滅していませんか。	→お手入れしてください。	5、10~11
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	4
	●プリーツフィルター、サイクロンカップを付け忘れていませんか。	→取り付けて、ふたをしっかり閉めてください。	11
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。	→取りのぞいてください。床ブラシの保護装置がはたらいています。	12、15
	●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。	→床ブラシの保護装置がはたらいています。	15
	●自動停止装置にゴミがついていませんか。	→取りのぞいてください。	12
	●回転部のギヤがベルトに入ってますか。	→回転部を取り付け直してください	12
	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。	→お手入れカバーを取り付け直してください。	13
電源コードが巻き取れない引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。	→1~2m引き出してふたたび巻き取ってください。	14
	●電源コードがからんでいませんか。	→ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	14

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

- ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
- ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
  プリーツフィルター、ダストカップをお手入れしてください。 10 11ページ
- ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
- すき間ノズルで連続運転使用したとき
- 夏期など室温が35℃を超えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
- フィルターお手入れサインが点滅したまま使用したとき

直しかた

①手元スイッチの(切)を押し、電源プラグをコンセントから抜く

②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく

③涼しい場所におく

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき

- 回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき
- 回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき

直しかた

手元スイッチの(切)を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。

約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
ダストカップ	（財）日本食品分析センター	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
アレルゲットフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約250W	337 mm	250 mm	226 mm	5.3kg (ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む)	630W～約90W	59dB ～約53dB	0.5 L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率630W、運転音59dB

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
  海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。